

1 . 韓米日三国共同声明に対する韓国の反応

2023-08-19

Hankyoreh

ハンギョレ日本語版

「東アジア版NATO」の創設なるか... 韓米日「安保危機に互いに対話・関与」

<https://japan.hani.co.kr/arti/international/47599.html>

要約：

1 . 三角安全保障協力体制

3 カ国は首脳や外相、国防相、安全保障担当高官など国家安全保障を取り上げる主要当局者間の協議を定例化し、「ホットライン」を開設する。3 カ国が参加する共同訓練も定例化する。

韓国大統領室高官は完全な軍事同盟ではないが、「三角安全保障協力体制と言える」と語った。

2 . NATO との比較

NATO 憲章第 4 条では「(一国の) 安全保障が脅かされた場合は、共に協議する」

同 5 条では「一国に対する攻撃を全体に対する攻撃とみなし、共同対応する」

今回の合意は「(危機状況が発生した際、) 各国が相手国と互いに対話し関与する」事になっており、東アジア版 NATO 創設を念頭に置いた動きといえる。

3 . 米国の東アジア戦略の展開

2010 年代半ばから、米国は韓国に外交的圧力をかける一方、日本の再軍備を支持した。韓日の軋轢と日本の平和憲法という 2 つの障害がされた。

これに対応して、日本は「敵基地攻撃能力」の保有を閣議決定し、韓国（の尹大統領）は強制動員被害者賠償判決について一方的な「譲歩」を行った。

2 .

23.08.04

Publico 紙（スペイン）

バイデンはトランプのキューバ攻撃政策を踏襲している

プブリコ紙の「キューバ大統領ディアス・カネルとの会見」

スペインの「プブリコ」紙に掲載された「キューバ大統領ディアス・カネルの発言」ミゲル・ディアス＝カネルとのインタビューを紹介します。（新藤）

リード

人口 1,100 万人強のキューバは、常にニュースに取り上げられている。しかし、その指導者たちの声を聞くことはほとんどない。

初めてのキューバ革命後生まれのミゲル・ディアス＝カネル大統領は、就任後初めてスペインのメディアとのインタビューに応じ、ハバナで行われたインタビューの後、文書でキューバの現状について語った。

キューバ大統領は、キューバをテロ支援国とみなす背景にある対立について触れ、バイデンとトランプの反キューバ政策の類似性を非難し、COVID 19 のパンデミック後のキューバの経済状況を説明し、ウラジーミル・プーチンおよび習近平との最近の会談を分析した。

質問 「ハバナ症候群」取り消し後の米政府対応

ドナルド・トランプの大統領就任下におけるキューバとアメリカの主な外交的対立のひとつは、キューバにあるアメリカ大使館職員に対する音波攻撃疑惑で、職員にめまいや吐き気などの症状を引き起こした。調査の結果、外国政府の責任はなく、これらの出来事の背後に武器行為はなかったという結論が最近出された。

キューバに対するこれらの非難は、キューバ人のビザの無期限取り消しを含む制裁措置の適用につながった。キューバ政府が背後にいないことを認めた後、何が起こったのか？

ディアス・カネル

私の見解では、これを外交紛争と表現するのは正しくない。アメリカ政府が明確な政治的目的をもって計画した誹謗中傷作戦である。

オバマ政権がキューバと国交を樹立し、より建設的で尊重に値する関係へと前進させるためにとった措置が、キューバ出身者を含むアメリカ内の大多数の支持を得ていたことはよく知られていることである。

トランプ政権が政権を取ったときに意図したように、オバマの政策を解体するには、まず関係のあり方を否定し、わが国の信用も失墜させ、キューバを敵対国家とする物語を再構築する必要があった。これが問題の核心である。それ以来、キューバに対する攻撃的な政治的アプローチへの回帰と、さらなる強制的措置の発動を正当化するために、告発的な物語は、新たな中傷でさらに充実したものになった。

したがって、重要なのは、健康症状という特別な口実による、最初の制裁や強制措置ではなく、その最初の段階から、後に続くすべてのことである。

時が経つにつれ、アメリカの情報機関自身が、攻撃疑惑という中傷的な主張を否定し、キューバやアメリカをはじめとする世界の科学界の大部分が言ってきたことを確認する役割を担ってきた。しかし、敵対的な政策アプローチはそのままであり、現在の米政権の優先的政策となっている。

「ハバナ・シンドローム」というレッテルを貼られたことで、この問題のメディア的性格がよくわかる。その後、何十人もの他国における米外交官が同じ症状を訴え、このレッテルも否定されたが、そこでは、非難の重大な証拠もなくキューバに矛先を向けるという構図が残った。

真実は、常に押し付けられたまま終わることになるが、その終わりが訪れるまでの間、嘘は陰謀となり、真実さえも取り消すことのできない犯罪的政策の口実となるのである。

質問 キューバはテロ支援国か

トランプ政権は任期終了後、キューバをテロ支援国リスト（2015 年に取り消していた）に加えた。これはキューバにとってどのような意味があるのだろうか？

ディアス・カネル

積極的な反キューバ派は、トランプ大統領が就任したときからキューバをリストに加えるよう圧力をかけていたが、トランプ大統領は最後まで抵抗したようだ。それを実現するにはずいぶん時間がかかった。そのため、実際にはバイデン政権がこの措置の結果を適用することになった。

これは著しく攻撃的で遠大な一歩だ。これは、テロリズムの脅威に対するアメリカの日和見的なアプローチを示す、容認しがたい中傷であるばかりではない。このような指定は、ほとんどすべての国の銀行や金融機関に脅威を与え、指定された国、たとえば今回のキューバとの関係を拒否させることにつながるからだ。

実際的には、世界各地の重要な銀行・金融機関グループとの関係を失い、わが国の経済活動のために他国との関係を築くことが難しくなった。そのため、貿易が非常に難しくなり、支払いや回収に支障をきたし、輸入品が高価になり、信用供与の可能性が制限される。

その結果、供給不足、支払い義務の不履行、生産用消耗品、サービス、国民の消費物の入手困難が生じる。同時に、海外からの投資が抑制され、国際協力も制限される。

その影響は、企業の経済活動だけでなく、キューバ国外に旅行し、支払いや取引を行う必要がある個人にも及んでいる。

これは、皮肉だが、現実である。キューバに対するテロリズムのスポンサーが、キューバがテロリズムのスポンサーであると非難しているのだ。

質問 コロンビア民族解放軍（ELN）との関係

驚きだったのは、民主党のバイデン政権が 2 月 28 日にその立場を継続したことだ。その正当化の理由のひとつは、キューバ領内にコロンビア民族解放軍（ELN）のスポークスマンがいることである。

ディアス・カネル

キューバのリスト指定は、テロ問題とは何の関係もない。それは、経済的強制の手段である。テロリズムの問題、キューバに ELN の代表団がいるかいないかは、口実にすぎない。このような公然たる日和見主義的政治行為の意味を探っても意味がない。

コロンビアのドゥケ前政権は、コロンビアの和平に対するキューバの疑いのない貢献に対して、恩知らずで政治的動機に基づく操作によって、公的声明、脅迫、召喚などのキューバに対する敵対行為に及んだ。

例えば、アメリカが、アメリカのテロ対策に全面的に協力していないとされる国のリストにキューバを含めると発表した同日、コロンビア前政権の平和担当高等弁務官は、国務省がキューバを含めると決定したことは、コロンビア政府とキューバが、ELN 和平代表団のメンバーを引き渡すよう「執拗に要求」したことを「是認」するものだと言明した。

ドゥケ前政権の言動は、アメリカ国内の反キューバ勢力と結託し、トランプ政権がキューバに対する経済・金融・通商封鎖を強化し、キューバをテロ支援国家に非合法に指定する口実を提供した。

しかし、2022 年 8 月 12 日以降、コロンビアの新政権は、キューバにいる ELN 代表団が合法的なものであり、その対話者であることを認めた。事実、ペトロ大統領が率いるコロンビア政府と ELN との最初の会談は、コロンビア外務大臣と新コロンビア平和担当高等弁務官が訪問したこの日に、ハバナで行われた。それ以降、和平交渉テーブル再設置のための合意された議定書が遵守された。

このことは、保証人である、ノルウェー、在コロンビア国連事務総長特別代表、コロンビア司教会議とともに行われた。

2022 年 10 月、キューバに残っていた ELN 対話代表団のメンバーは、保証人であるノルウェー、ベネズエラ、キューバとともに、コロンビア国家政府と ELN との合意に基づき、キューバ国内から撤退した。そして、コロンビア政府と ELN の和平交渉を再開することが決定された。

コロンビア政府は逮捕状を解除し、コロンビア民族解放軍（ELN）和平代表団のメンバーに対する国際協力要請と国際刑事警察機構（ICPO）の警告の通告を停止し、キューバに残っていた同代表団のメンバーに対するキューバへの身柄引き渡し要請を取り消すことを決定した。

これらの ELN のメンバーは、ベネズエラ、メキシコに行き、コロンビア政府と他の 6 カ国と会談し、現在はキューバにいる。コロンビアの人々、そしてラテンアメリカとカリブ海諸国全体にとって幸いなことに、対話のテーブルは数日前、ここハバナで第 3 サイクルを終了し、平和構築へのコロンビア社会の参加プロセスや、二国間、国家間、一時的停戦に関する非常に重要な合意に達した。

質問 アメリカの制裁が続く理由

しかし、コロンビア政府と ELN の和平交渉におけるこのような進展にもかかわらず、アメリカのキューバに対する立場は続いている。

ディアス・カネル

それは事実だ。しかし、アメリカは私たちを偽りのリストに載せ続けるために、その主張を文字ひとつも変えていない。本当にテロと戦っている専門家たちは、自分たちを恥じているに違いないと想像する。

キューバに関して言えば、我々は署名した議定書に従って倫理的に行動している。私たちは約束したことを守る国である。そして、テロの犠牲者を多く出した痛ましい記憶を持つ国である。

質問 オバマとバイデン政権の違い

オバマ大統領とは異なり、民主党のバイデン政権は、キューバに対する制裁と封鎖を緩和することを選ばず、トランプ大統領の措置のほとんどすべてを維持していることは明らかである。なぜ 2 人の民主党大統領の間にこのような違いがあるのか？

ディアス・カネル

よくある当然の質問である。アメリカの政治家でさえもそう尋ねる。それを読み解くことができれば、おそらくアメリカの政治システムの特徴と相互作用を完全に理解できるであろう。

はっきりしているのは、バイデン政権は、トランプが推進する攻撃的なアプローチに忠実であることを選択し、バイデン自身が副大統領時代に所属していたオバマ政権が設定した路線には不誠実であるということだ。

現政権が誕生して以来、キューバ経済の崩壊に関与してきたことも明らかだ。パンデミック（世界的大流行）の最中に封鎖が強化され、トランプ大統領の政策が見直されるはずだという誤解を招くような発言がなされたが、一方、その時、バイデンの政策の最も有害で代表的な要素が厳格に適用されたのである。凶悪性は、降伏しない敵に遭遇したときの帝国政治の手段である。共和党も民主党も、200 年にわたってこの政策を追求してきた。

質問 ロシアと中国に対する評価

あなたは最近、ロシアのプーチン大統領、中国の習近平国家主席と会談されたが、これらの会談をどのように評価し、ウクライナ戦争をめぐる世界的危機におけるこれら 2 つの大国の役割をどのように認識しているか？

ディアス・カネル

私はこれまで、習近平同志とさまざまな機会に深く温かい交流を持つことができた。最後は、中国共産党第 20 回大会が開催され、党総書記に再選された後の 2022 年 11 月だった。

習近平同志はキューバ国民の誠実な友人であり、確固たる原則を持つ政治家であり、包括的な発展、制度の尊重、合法性、人民を自らの献身の中心に据えている。

習近平同志が、キューバとの関係に個人的な配慮と優先順位を与えていること、そしてキューバと中国の愛すべき友好関係の形成者として、キューバの歴史的指導者が果たした役割を認識していることを強調しなければならない。

我々はまた、中国、習近平党総書記・国家主席が、ウクライナ紛争の永続的かつ交渉による政治的解決策を見出すために行っている外交的努力も認識している。

我々は、国連憲章の尊重に基づき、単独行動主義、特に一方的な制裁に反対であり、すべての国にとって協力的で持続可能な安全保障のビジョンが必要であることに同意する。

私はまた、ウラジーミル・プーチン大統領とも広範な交流を行ったが、その際、同志意識と、キューバとロシアという 2 つの姉妹国を区別している関係をあらゆる分野で強化したいという共通の願望が際立っている。

フィデル・カストロ議長の前記の記念碑がモスクワに建立され、2022 年 11 月に私がロシアを訪問した際に、除幕式が行われたが、誠実な友人との会談における率直で友好的な雰囲気は、伝統的な友好関係の賜物である。

その際、プーチン大統領が、キューバ革命の歴史的指導者であり、地球の反対側で何百万人もの人々を励まし、導いている人物であると、フィデル・カストロに対する称賛と尊敬の念を述べたのを聞いたことは、感動的な出来事だった。

我々はロシアと友好的かつ戦略的な関係にある。それをロシアと発展させている。それは、ソビエト連邦時代から築かれてきた友好と兄弟的な歴史的な絆に基づき、尊敬の念、愛情、政治的な問題での一致、そして経済、貿易、金融、科学、技術などの関係を発展させる可能性がある。我々は、これらの関係を強化しなければならない。

我々は、NATO によるロシア国境への漸進的な拡張を拒否する。この拡張は、予測不可能な意味のシナリオをもたらした。国際法を擁護し、常に平和を擁護する国連憲章を支持する国として、我々は、強制の方法としてロシア連邦に適用されるすべての制裁を非難する。

我々は、すべての人の安全保障と主権を保証し、正当な人道的懸念に対処する外交的かつ現実的な解決策を提唱する。

中国とロシアからは、無条件で連帯と協力のみを受け取っている。中国とロシアは友人である。そして彼らとは、平和の最良の保証である多国間主義の擁護を共有している。

質問 欧州・スペインとキューバとの関係

ウクライナ戦争において、欧州各国政府は明らかにアメリカと同調している。

欧州連合（EU）や特にスペイン政府は、キューバとの関係において自律的かつ主権的な政策をとっていると思うか、それともアメリカの圧力に従っているのだろうか？ 欧州やスペインのキューバとの協力関係を懐かしく思うことはあるか？

ディアス・カネル

キューバと欧州連合（EU）の関係は、2017 年以降、相互主義、平等、尊重の原則に基づくキューバ、EU、加盟 27 カ国間の政治対話・協力協定（PDCA）によって管理されている。これにより、PDCA に盛り込まれた対話と、経済発展に重要な影響を与える協力のメカニズムを通じて、政治的な結びつきを推進するとともに、キューバの経済発展において重要な効力を持っている協力を推進することができた。

我々は、相違点が存在するものも含め、二国間および多国間の諸問題の多様な問題の枠組みにおける広範な交流を好む、より成熟した関係へと移行してきた。ジョセップ・ボレル上級代表が来日した 2023 年 5 月 26 日に開催された第 3 回キューバ・欧州連合（EU）合同理事会でも明らかのように、キューバと欧州連合（EU）の相互利益のため、より良い関係を構築し続けようという意思が双方にある。

我々は、キューバが毎年国連総会で提出しているアメリカの封鎖に反対する決議案を、欧州連合全体として支持していることを認識している。この政策の第三国への適用という性質は、欧州の企業および団体を主な対象としているため、我々は EU に対し、二国間関係の正常な発展を妨げる一方的な強制措置の影響から自国民を保護するための規制を適用するよう求める。

EU は、キューバに対する最大限の圧力政策の一環として、アメリカ政府が作成したテロ支援国家リストからキューバを除外することを支持する立場を明確にしている。

特にスペインの場合、両国間には相互尊重、文化的、家族的な絆に基づく歴史的な関係がある。二国間関係は 6 月 21 日に 121 周年を迎えた。スベ

インはキューバにとって、世界的にも、特に EU 内でも主要な経済パートナーのひとつであり続けている。

質問 新型コロナがキューバ経済と観光産業に与えた影響について

新型コロナ危機は、特に観光業に依存する国々に影響を与えた。スペインとキューバがそうである。スペインでは観光業は回復しつつあるが、キューバは苦境に立たされているというのが私の認識である。

キューバ経済への新型コロナの影響後、キューバの経済状況はどうなっているのか？

ディアス・カネル

観光はキューバ経済にとって戦略的な部門である。2015 年から 2019 年までの数年間、経済の平均成長率は 1.8%だったが、観光業は 5.8%と建設業に次ぐダイナミックな成長を遂げていた。観光用資材購入額は 60%を占め、経済の他部門に財政的に貢献しているが、輸入代替にも有利であるため、非国営的経営形態の活動も含め、国の他の経済部門にとっての活力要因であると考えられている。

そして今世紀に入って、2019 年までのところ、この国のこの経済活動の結果は、その発展を優先させるという決断が正しかったことを裏付けていると言える。

その後、コビド 19 の大流行が起こり、世界的に観光業は 2020 年に最大の危機に見舞われた。世界全体で前年比 72%減となった。

2020 年の第 1 四半期だけで 981,900 人以上の旅行者を記録し、2020 年のスタートをますますの成績で飾ったキューバは、この年の 3 月 24 日に COVID-19 により国境閉鎖を余儀なくされた。

統計によれば、これは 1997 年の水準まで遡るもので、23 年ぶりの後退である。

2021 年の実質的な全期間（11 月 15 日まで）国境閉鎖は維持された。国民の健康が最優先され、キューバはワクチンや治療法の開発に取り組んだ。アメリカの封鎖が強化された結果、安全な解決策は、乏しい資源と革命によ

って鍛えられた豊富な人材で見つけることができるものだけとなった。

ディアス・カネル（追加発言） 新型コロナを追い打ちした米国の制裁措置

私がこのようなことを申し上げるのは、キューバの観光業における実績は他国と比較することができないからである。パンデミックの蔓延の結果、すべての国家が直面している課題は、私たちの場合、いまだにワクチンもない別のパンデミックによって倍加している。

60年にわたる経済封鎖と、経済全体と特に観光業を弱体化させることを主な目的としたトランプ政権の243の措置、その多くはパンデミックによって引き起こされた健康上の緊急事態の間に強化され、私たちの国民に壊滅的な影響を与えた。私は、効率性に問題がないと言っているわけではないし、世界的な問題に敏感な経済部門に大きな変革が必要であることを否定しているわけでもない。しかし、Covid-19の前後に大きな相違点があることは間違いなく、この状況下での都合の良い封鎖強化は、順調に伸びていた業績に悪影響を及ぼしたのである。

歴史的な来場者数を記録した2018年の結果がある。その年、キューバに滞在した4,711,900人の17.4%にあたる822,464人の旅行者を海路で受け入れた。その後、ドナルド・トランプ政権により指示された、243の措置が、次々と、あるいはパッケージになって現れ始めた。キューバへの渡航緩和を取りやめ、クルーズ船のキューバへの入港を禁止するなど、現在進行中の世界的危機から逃れる方法をキューバにできるだけ多く閉ざすための方法である。

バイデン政権によって維持されているこれらの措置は、キューバをテロ支援国家リストに恣意的に加えることとともに、わが国に対する恒久的なメディアキャンペーンを助長し、キューバ経済と社会のあらゆる分野に影響を与えているが、特に観光業に打撃を与えることを目的としている。

自らを「自由世界」の市民と考えるアメリカ人観光客にとって、キューバは禁断の国であるだけではない。2021年以降、ヨーロッパの市民がアメリカに入国するための短期90日以内のビザを不要とする電子渡航認証システム（ESTA）は、無効となった。もしキューバを通過する場合は、通常のビザを申請しなければならない。キューバ経済にとって、また新たな打撃であり、回復への道のりで越えなければならない障害である。

邪悪といえば、このような政策のことだ。この残酷な政策が短期的に終わるとは何も示していない。私たちの決断は、封鎖を飛び越えて前進することだ。

3 . 旧ドイツ共産党、機関紙の最終号

ドイツ共産党機関紙「ローテ・ファーネ」1933 年 2 月 26,27 日最終号

下記の記事はベルリンの「抵抗運動記念館」のサイトから引用したものです。90 年前のドイツ版「赤旗」の記事です。すでにベルリンの党本部は接收され、この号をもって発行停止となります。「抵抗運動記念館」は 8 月 15 日の赤旗で第二次大戦の始まりを振り返る特集の一環として紹介されました。

今日、ウクライナ軍の主力はネオナチであり、これを欧米諸国が支持して戦争が続けられ、市民の大勢もウクライナ支持に回っています。もとより非はロシアにあります、非戦・非同盟を唱える欧米左翼は孤立し厳しい戦いを強いられています。その中でも反ファシズムの闘いを最後まで止めなかったドイツ共産党の姿勢は受け継ぐべきものがあるのではないのでしょうか。(S)

16. Jahrg. — Nr. 37 — Preis 15 Pfennig

Berlin, Sonntag/Montag, 26. u. 27. Februar 1933

Die Rote Fahne

Zentralorgan der Kommunistischen Partei Deutschlands (Sektion der Kommunistischen Internationale)

Verlag: Berlin & Co., 10, Spandauer Str. 10, 1. Stockwerk
Erl. d. H. 1. Jahrg. 1933, 1. H. 1. Jahrg. 1933, 1. H. 1. Jahrg. 1933
Berlin & Co., 10, Spandauer Str. 10, 1. Stockwerk

Verlag: Berlin & Co., 10, Spandauer Str. 10, 1. Stockwerk

Verlag: Berlin & Co., 10, Spandauer Str. 10, 1. Stockwerk

Verlag: Berlin & Co., 10, Spandauer Str. 10, 1. Stockwerk



Das Hakenkreuz regiert in Deutschland — nie war die Freiheit der Kapitalisten so groß, nie wurden die Bürgerschleier so wenig angezogen wie heute.

Das Hakenkreuz regiert in Deutschland — und Proletenarbeiter gehen in Flammen auf, während die Reichen ungerührt in ihren Palästen wohnen.

Das Hakenkreuz regiert in Deutschland — Papen und Hugenberg und die Milken-Jubel!

Das Hakenkreuz regiert in Deutschland — die Arbeiter werden in die Kasse der Kasse!

Das Hakenkreuz regiert — Die Arbeiter regiert! Die Arbeiter regiert! Die Arbeiter regiert!

Das Hakenkreuz regiert — aber die herrschende Klasse sitzt auf einem Vulkan. Denn wenn auch sämtliche KPD-Zeitungen

Presen verheizen sind, die Arbeiter schreien nicht! Möge die faschistische Reaktion auf den Hakenkreuz Ozeanien,

in den Kassen der Tont-Ökonomie, auf den Schlüsseln der oberen Zehntausenden für Hitler sein — in den Schlüsseln

und Gruben, auf den Werten Hamburgs ebenso wie in den Chemikalien von Ludwigshafen, in den Kassen der ausgesto-

ren Landarbeiter und vor der glühenden Fesseln der Hakenkreuzen im Westen und vor den Stempelstücken — dort sind und

bleiben die Todfeinde Hitlers, Papen und Hugenberg!

Die Herren da oben verbinden als ihr Ziel die Ausrottung des Marxismus. Da müßten sie zuerst die gesamte

Arbeiterklasse ausschalten. Denn die haben es in uns ja nicht mit Verstand an Marxismus zu tun, wie sie einmal in

Deutschland an der „Macht“ waren, um in 100jähriger Kollisions- und Tolerierungspolitik den Kapitalismus gegen den

Kommunismus zu verdrängen.

Vor euch, ihr faschistischen Herren, steht ein marxistisches Arbeitervolk, das nicht wegschreit, die

Stimme in den Säulen zu erheben und den Hakenkreuz unter das kapitalistische Joch zu brechen. Bismarck und

Wilhelm, Hitler und Mann, Seckel, Brüning und Seydewitz wollten den Marxismus-Kommunismus zertrümmern

und sind daran gescheitert. Auch die Rezenten von heute werden sich die Zähne an ihm ausbeulen. Denn

in Deutschland wird nicht die Herrschaft von Potsdam, Hakenkreuz und Schwerindustrie stehen. In Deutsch-

land wird die Arbeiterklasse, wird der Kommunismus triumphiert!

Sozialismus oder Kapitalismus? Arbeiter- und Bauernregierung oder Hitler-Papen-Hugenberg-Kabarett?

Ihr, Arbeiter Berlins, Werktätige Deutschlands, seid zur Antwort aufgerufen. Trete an, beweise dem

Faschismus, daß die Fahne mit Hammer und Sichel eben bleibt, trotz alledem und alledies!

Mühe es alle Hünen, die es anseht: Die Partei der Zukunft, des sozialistischen Deutsch-

lands, ist auch mit Hind und Eisen nicht abzuwehren.

Die Kommunistische Partei, die einzige, die der Faschismus fürchtet, die einzige Partei, die niemals

mit Kapitalismus politisiert hat noch politisiert wird, ruft alle, die zur sozialistischen Einheitsfront

streben, sie ruft in alle Städte, ins ganze Land hinein:

Die geschichtliche Entscheidung wird heute in Deutschland gerungen! In diesen Wochen, wo der

Verstand sich ausreißt, die Arbeiterorganisationen zu zerstören, die KPD noch vor den Wahlen

verbieten zu wollen, darf niemand schwanken, keiner zweifeln! Fort mit der Fahne der SPD-Führer,

die auch hinter der Fresse war: „Mittelwegpolitik“ zum Absinken und Stillschalten verfallen wollen!

Verwerfend die Sozialen und Stempelstücken in Trübsagen der wahren proletarischen Einheitsfront!

Sicher in allen Arbeiterquartieren den Schutz des Arbeiterlebens und -eigentums gegenüber jeder

faschistischen Persekution! Eine Zeitungen sind verboten, viele Druckereien geschlossen, viele Eng-

länder beschlagnahmt. Aber ihr selbst seid da. Keiner kann euch daran hindern, von Mund zu

Mund, von Stufe zu Stufe, von Betriebskassette zu Betriebskassette, vor und in der Stempel-

stempel mit einer Glut eures Herzens, mit der heißen Kraft eurer Überzeugung für die Wahl der Liste 3

zu werben, zu werben, zu werben und albernheit zu sein!

Kommunisten, Antifaschisten, all ihr Männer, Frauen und Jugendlichen des werktätigen Volkes! Die

Sache der Freiheit und des Sozialismus ist in eure starken Hände gegeben. Vorwärts, Proletariat,

alle an die Seite der Kommunistischen Partei! Mit ihr vorwärts! Mit ihr zum Sieg!

Wählt KPD Liste 3

記事 A 「共産主義は永遠だ」

共産主義万歳！

ドイツでは鉤十字が支配している。

資本家がこれほど自由で、株屋の大物たちが今ほど手つかずだったことはない。

ドイツでは鉤十字が支配している。

金持ちは宮殿で平然と暮らしている。

鉤十字がドイツを支配している。

フーゲンベルクと大富豪は大喜びだ！
鉤十字がドイツを支配している。
共産党本部は占拠され閉鎖された。
鉤十字が支配し、インフレが支配する！貧困と飢餓が支配する！
飢餓が支配する！賃下げが支配する！
鉤十字が支配している。
火山の上で踊っている。

プロイセンの KPD の新聞がすべて発禁になろうとも、労働者は口をつぐむことはない！
東エルビアン*の大地主、独占資本のオフィス、上位 1 万人の金持ちは、ヒトラーに好意的かもしれない。
*エルベ川の東側地方の総称。旧プロシア王国領に相当する。

しかし、工場や鉱山では、ハンブルクの造船所やルートヴィヒスハーフェン*の化学地獄では、東プロイセンの百姓屋では、西側の製鉄所の金属粉の舞う鍛冶場では、失業対策事務所では、彼らはヒトラー、パッペン、フーゲンベルクの宿命の敵である！今後もそうあり続けるだろう。
*ドイツ南西部、ライン河畔の工業都市で、BASF の本拠地として知られる。

富裕層の諸君は、マルクス主義の根絶を目標として掲げている。
しかし、彼らはその前に労働者階級全体を根絶しなければならないだろう。

なぜなら、彼らが相手にしているのは マルクス主義の裏切り者*ではないのだ。ドイツでは、裏切り者たちはいったん政権を把握するやいなや、資本主義を共産主義から守るために努力し続けてきた。彼らの 14 年間の仕事といえば、連立と寛容政策で、資本主義を守り共産主義を排除しただけである。
*ドイツ共産党は、崩壊・消滅のその日まで社会民主党を裏切り者と非難し、敵視し続けた。

ファシストの諸君、諸君の前には 埃に前髪を下ろし、資本主義のくびきの下で首を屈することのないマルクス主義労働者の一群が立っている。

ビスマルクとカイザー・ヴィルヘルム、ノスケとカップ、ゼークト、ブリューニング、セヴェリングたちファシストは、マルクス主義と共産主義を粉砕しようとしたが失敗した。

そして新独裁者もまた、同じように厳しい試練に直面するだろう。

ポツダム（政府）と鉤十字（ナチス）と重工業の十字軍は、勝利を収めることはない。

ドイツでは、労働者階級と共産主義が勝利を収めるだろう！

社会主義か資本主義か？

労働者と農民の政府か、ヒトラー・パペン・フーゲンベルクの内閣か？

ベルリンの労働者、ドイツの労働者である諸君は、答えを求められている。闘争に参加し、ファシズムに証明せよ！どんなことになろうとも、ハンマーと鎌の旗が、なお掲げられることを！

すべての同志がこれを聞きますように。

未来の党、社会主義ドイツの未来の党は

血と鉄で絶滅させることはできない。

共産党は、ファシズムが恐れる唯一の党であり、資本家と盟約を結んだことも、結ぶこともない唯一の党である。

党は国中のすべての町や都市に呼びかける。

我々は今日、ドイツにおいて歴史的な決断のもとに格闘している！

この数週間、ファシズムが労働者組織をバラバラにし、選挙前にもかかわらず共産党を追放しようとしている。誰も動揺してはならず、誰もためらってはならない！

SPD 指導者は「不可侵協定」というキャッチフレーズで諸君を惑わし、じっと待つように仕向けようとしている。こんな妨害工作に従うのは、もうやめよう！

工場と失業局を真のプロレタリア統一戦線の要塞に変えよ！
すべての労働者地域で、あらゆるファシストの挑発に対して労働者の生命と財産の保護を保證せよ！

諸君の新聞は禁止され、印刷所は閉鎖され、ビラは没収されている。しかし、君たち自身はそこにいる。口から口へ、フロアからフロアへ、工場から工場へ、失業対策事業所の外から内へ、あなた方を妨げることは誰にもできない。

心の炎を燃やし、熱い信念の力をもって暴露し扇動しから、行動を呼びかける。警戒態勢を整え実行に移そう！
共産主義者、反ファシスト、男性諸君、女性諸君、若者諸君、そして労働者階級の皆さん！
自由と社会主義の大義は、あなた方の力強い その手に委ねられた。
前進せよ、プロレタリア諸君。共産党の側に！
党とともに前進せよ！
党とともに勝利へ！